

10月は骨髄バンク推進月間です。 ～あなたにしか救えない命があります～

厚生労働省では、毎年10月を「骨髄バンク推進月間」と定めています。
1人でも多くの患者さんを救うため、「骨髄バンク」にご登録ください。
移植を待ち望む患者さんのために、町民の皆さんのご協力をよろしく
お願いします。

骨髄バンクとは？

広く一般の人に骨髄・末梢血幹細胞の提供を呼び掛け、移植が必要な患者さんのいのちを救うための公的事業です。

どうして 骨髄バンクが 必要なのか？

移植を成功させるためには白血球の型(HLA型)を一致させる必要があります。その型は数万通りあるといわれ、適合度が高いほど成功の確率が高まります。兄弟姉妹間では1/4の確率で適合しますが、親子間ではごく稀です。

そのため、1人でも多くの人にドナー登録していただくことが、多くの患者さんを救うことになるのです。

ドナー登録できる人

- ①骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している人
 - ②年齢が18歳から54歳までで健康状態が良好な人
 - ③体重が男性45kg以上、女性40kg以上の人
- (※)提供できる年齢は20歳から55歳までで、家族の同意が必要です。

ドナー相談窓口

骨髄移植・ドナー登録に関する詳しい情報は、公益財団法人日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。



名 称	住 所	電話番号
献血ルームアエル20	仙台市青葉区中央1-3-1アエル20F	022-711-2090
杜の都献血ルームAOBA	仙台市青葉区一番町4-9-18TICビル6F	022-738-9101
仙南保健所	柴田郡大河原町字南129-1	0224-53-3121
塩釜保健所	塩釜市北浜4-8-15	022-363-5504
塩釜保健所 岩沼支所	岩沼市中央3-1-18	0223-22-2189
塩釜保健所 黒川支所	富谷市ひより台2-42-2	022-358-1111
大崎保健所	大崎市古川旭4-1-1	0229-91-0714
大崎保健所 栗原支所	栗原市築館藤木5-1	0228-22-2117
石巻保健所	石巻市あゆみ野5-7	0225-95-1430
石巻保健所 登米支所	登米市迫町佐沼字西佐沼150-5	0220-22-6119
気仙沼保健所	気仙沼市東新城3-3-3	0226-22-6662

☎ 宮城県保健福祉部 薬務課 ☎022-211-2653
保健福祉課 健康増進係 ☎46-5113

まちの健康相談室「ぽかぽか」のお知らせ

自分の健康状態を振り返る機会や、日ごろ人に言えない気持ちを聴いてもらう場としてのご利用など、内容がはっきりしていなくても相談が可能です。相談員(保健師・栄養士)がお待ちしていますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 日時 10月7日(火) 午前10時～午後1時 受付時間は午後0時30分までとなります。
- 場所 南三陸町役場 マチドマ
- 内容 保健師・栄養士による個別相談 ※お薬手帳をお持ちください。

血圧・筋肉量
体脂肪測定など
健康チェックを
してみましょう

☎ 保健福祉課 健康増進係 ☎46-5113

「さんサポートプロジェクト」 今後の草刈り&企画のお知らせ

「さんサポートプロジェクト」は、南三陸町震災復興記念公園が開園したことをきっかけに、2021年に町内の有志で発足したプロジェクトです。公園含めその周辺エリア(さんさん商店街、松原海岸、神社など)を活かしながら、地域の自然・文化・交流の拠点をみんなで継承し、守り、育んでいこうというプロジェクトです。

プロジェクトの一環である震災記念公園草刈りは、すでに6月5日(木)に第1回を終え、延べ60名程のご参加をいただきました！ご参加いただきましたみなさま、音頭をとってくださった南三陸町社会福祉協議会のみなさま、ありがとうございました！次回は10月23日(木)を予定しています。お申込や詳細の確認は、南三陸町社会福祉協議会へお問い合わせください。

▶今後のさんサポートプロジェクトでは、次の企画を予定しています！

10月1日(水)

南三陸高校2年生とまちの防災を考える授業

昨年度1年生の時に実施した震災記念公園での防災ワークショップを振り返りながら、今年度の1年生に向けたアイデア出し、まちの防災を考えていくうえで取り組みたいことや課題などを考えます。

10月10日(金)

南三陸高校1年生と防災ワークショップ @南三陸町震災復興記念公園

さんサポートプロジェクトを生み出した志津川地区まちづくり協議会と一緒に、南三陸高校の1年生全員と防災ワークショップを行います。今年で3年目となりますが、高校生だけではなく参加した大人たちもとても学びがある取り組みです。地域の大人の参加も大歓迎です！

11月3日(日)

第4回上の山しおかぜ文化祭 @上山八幡宮境内

さんサポートプロジェクトの一環として開校した「上の山しおかぜ学校」のメンバーで、今年も文化祭を開催します。資金はありませんが、みんなで持ち寄って一から手作りの文化祭。昭和レトロをイメージした装飾に、神楽殿を活かした舞台発表なども味がありますよ！お子様にも嬉しい生き物観察、おやつコーナーなどさまざまにご用意しています。開催時間は午前11時～午後4時を予定しており、盛り上げてくれる演者も募集中です。ぜひ遊びに来てくださいね！

☎ さんサポートプロジェクト事務局(工藤・大場)
URL: <https://www.facebook.com/33port.jp>

後期高齢者医療資格確認書の負担割合が2割の方への配慮措置が終了しました

資格確認書の負担割合が2割の人には、1カ月の外来医療窓口負担額を「1割負担の額+3,000円以内」に抑える配慮措置が令和4年10月から適用されていましたが、令和7年9月30日に終了しました。負担割合が2割の方は10月1日から医療機関での窓口負担額が増えたり、高額療養費の払い戻しが少なくなることがあります。

(例) 1カ月の外来医療費が 50,000円の場合	これまでの配慮措置による 窓口負担額 (令和7年9月30日まで)	令和7年10月1日からの 窓口負担額
	5,000円(医療費の1割分)+3,000円(定額) =8,000円	10,000円(医療費の2割分)

☎ 町民税務課 医療給付係 ☎46-1373

快挙! 南三陸高校自然科学部が国際大会で特別賞を受賞

南三陸高校自然科学部の生徒たちが、台湾で開催された「2025台湾海洋国際青年論壇(Ocean Challenge 2025)」に出場し、見事「企業賞」を受賞しました。

この大会は世界各国から若者が集まり、海洋の課題に対する革新的なアイデアを発表する国際的な舞台です。今年は24カ国から約800人が参加し、南三陸から挑戦した高校生たちが特別賞を受賞するという大きな成果を収めました。

受賞したのは、南三陸高校自然科学部の3名。彼女たちは「南三陸の未来に向き合う」というテーマで発表を行い、地域と海との共生を見据えた取り組みが高く評価されました。

9月8日には町長を表敬訪問し、これまでの研究や大会での経験を報告。「地域の自然を守りながら未来をつくりたい」と力強く語る姿に、町長からも「町の誇りです。今後も夢に向かって挑戦を続けてください」と激励の言葉が贈られました。

若い世代の挑戦が、南三陸の未来をさらに明るく照らしてくれることを期待しています。

